

KN グローカルリサーチレポート

2017年9月
No.17

残暑が続いていますが、朝夕は涼しくなりました。月明かりに耳を澄ますと虫の音が聞こえ、秋の風情です。

「○○の秋」。皆様にとって、○○は？ 何でしょうか？



金融機関の資金供給

表1は、浜松市内に店舗がある地方銀行と信用金庫の、業種別の貸出残高である。貸出残高の多い順に、静岡銀行、スルガ銀行、清水銀行、浜松信用金庫、静岡中央銀行、磐田信用金庫、遠州信用金庫となっている。浜松地域を地盤とする浜松信用金庫の貸出残高は 8,868 億円と、静岡中央銀行の約2倍で清水銀行に匹敵し、地域経済に重要な役割を果たしている。

■表1 業種別の貸出残高の金額と割合

単位：百万円

	静岡銀行	スルガ銀行	清水銀行	浜松信金	静岡中央	磐田信金	遠州信金
製造業	1,321,279 (17.1%)	66,739 (2.1%)	174,860 (16.3%)	133,201 (15.0%)	58,121 (12.1%)	44,695 (12.6%)	28,382 (13.2%)
農業 林業	7,722	5,150	911	699	100	740	622
漁業	6,138	40	551	296	35	37	621
鉱業 採石業	14,554	—	210	200	59	650	130
建設業	240,387	16,682	53,420	45,758	31,276	24,014	13,748
電気ガス水道業	78,077	5,019	13,007	14,750	1,485	2,953	546
情報通信業	62,514	1,505	5,484	2,555	1,848	389	544
運輸業郵便業	277,420	13,517	46,458	11,609	9,617	7,998	4,040
卸売業 小売業	796,118 (10.3%)	38,988 (1.2%)	112,032 (10.4%)	65,106 (7.3%)	34,473 (7.2%)	36,267 (10.2%)	16,274 (7.6%)
金融業 保険業	387,528	74,788	37,713	11,256	9,391	15,798	5,023
不動産業 物品賃貸業	1,587,885 a) (20.6%)	71,422 (2.2%)	239,010 (22.3%)	159,546 (17.6%)	116,319 (24.3%)	54,675 (14.8%)	31,854 (14.3%)
各種サービス業	513,903 (6.7%)	36,256 (1.1%)	103,747 (9.7%)	95,701 (10.8%)	59,791 (12.5%)	42,023 (11.9%)	23,045 (10.7%)
国・地方公共団体	140,704	9,701	75,604	16,565	1,748	22,615	11,563
個人 その他	2,287,980 (29.6%)	2,913,972 (89.6%)	210,763 (19.6%)	329,589 (37.1%)	154,964 (32.3%)	101,523 (28.7%)	78,527 (36.5%)
合計	7,722,216	3,253,790	1,073,777	886,840	479,238	354,377	214,930
住宅ローン残高	2,604,589 b) (33.7%)	2,040,621 (62.7%)	213,943 (19.9%)	296,424 (33.4%)	143,451 (29.9%)	85,805 (24.2%)	非公表 非公表
その他ローン残高	340,461 (4.1%)	866,727 (26.6%)	113,918 (10.6%)	16,981 (1.9%)	3,458 (0.7%)	10,710 (3.0%)	非公表 非公表
消費者ローン残高合計	2,945,050 (38.1%)	2,907,348 (89.4%)	327,861 (30.5%)	313,405 (35.3%)	146,910 (30.7%)	96,515 (27.2%)	非公表 非公表

出所)各金融機関のH29年3月末の決算資料から作成

各金融機関の業種別貸出先は、個人の「住宅ローン」が最も多く、次いで、「不動産業・物品賃貸業」、「製造業」の順となっており、「卸売業 小売業」や「各種サービス業」が続く。（「農業」や「漁業」などは、農協や漁協からの融資を利用していると思われる。）

【不動産への融資】

貸出残高に占める個人の住宅ローンと不動産業への融資は（表1のa）とb）の合計）、静岡銀行 54.3 %、スルガ銀行 64.9 %、清水銀行 42.2 %、浜松信用金庫 51.0 %、静岡中央銀行 54.2 %、磐田信用金庫 39.0 %となっており、全ての金融機関で最も大きな割合を占めている。



このような金融機関の決算状況は、現在も、人々の住宅取得や不動産投資への資金需要が旺盛である事を裏付けているわけだが、一方で、「空き家」や「空き店舗」が増えているのは、私たちの日常生活からも実感できる。

今後の不動産市況は、高齢化の進展と相続の増加等で、更に「空き家」や「空き地」が増加する。また、働き方の変化やシェアエコノミー等、私たちを取り巻く社会の環境が大きく変わり、不動産も「所有」から「利用」へと、不動産投資のあり方も変わってくるであろう。今後、金融機関は、不動産への顧客の資金ニーズをどのように捉えていくのか、また、不動産以外の融資先をどのように開拓していくのか、その動向を注視したい。

【個人への融資が多いスルガ銀行】

スルガ銀行の貸出残高を見ると、貸出残高に占める「住宅ローン残高」は 62.7 %と、他の金融機関の2倍以上となっている。また、「その他のローン残高」が 26.6 %と、他の金融機関よりも多い。スルガ銀行のホームページでは、カードローンの「フリープラン」と称して、様々な用途に使えるローンがある。スルガ銀行は個人の資金需要に応える戦略を展開している。

【お役立ち セミナー】

○ビジネス プロデュース力 養成 ワークショップ 2017 キックオフ セミナー

- ・日時 平成29年9月14日(木) 14:00~17:00 **無料**
- ・会場 アクトシティ浜松 コンgressセンター41会議室
- ・主催 (公財)浜松地域イノベーション推進機構



○わかりやすい マーケティング リサーチ

- ・日時 平成29年10月28日(土) 13:00~15:30 **5,880円**
- ・会場 B-nest静岡市産学交流センター6階(静岡市葵区御幸町3-21)
- ・主催 静岡県立大学 地域経営研究センター



執筆 = 西川公一郎 : 元浜松市議会議員、防災士

(公社)子どもの発達科学研究所 事務局長

(一財)日本総合研究所 客員研究員

浜松市中区 在住 ko-ichi@24kawa.org